

(2) 配置構成計画

2 配置計画の概要

① 施設規模

施設規模は、玉里地区の児童生徒数に応じた学校規模について検討し、児童生徒数等、長期的な展望を考慮した上で、必要な施設を合理的かつコンパクトに整備します。基本構想では、今後、建設計画を進行する上で、ベースとなる実現可能な整備内容を提示します。

想定校舎 : A 案 既存中学校校舎 (3,204 m²) + 3,800 m²程度【増築】
B 案 7,000 m²程度【新築】

計画学級数 : 学級数 22 (普通学級 18 特別支援学級 4)

② 配置条件

以下の条件に適う配置案を検討します。

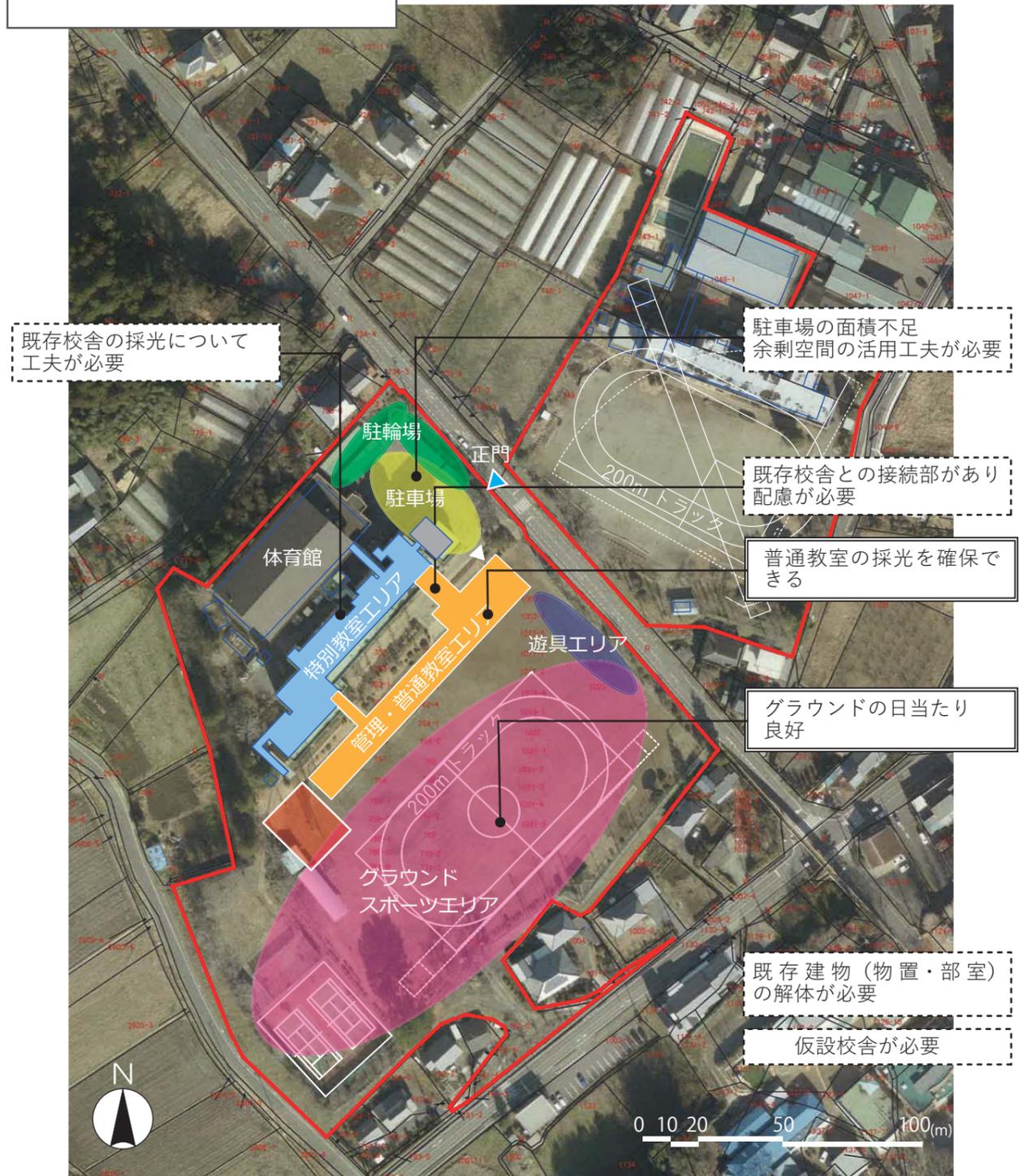
- 校舎等は必要十分な大きさを確保し、教育活動、運動、安全等に留意して配置します。
- 既存体育館を有効的に活用できるよう配慮します。
- 駐車スペースは、教職員及び来客用の必要台数を確保します。
- グラウンドは、児童生徒が十分に運動できるよう、200mトラックを確保します。
- 通学路等を考慮し、安全性に配慮した動線を確保します。

3 配置案

- A-①案 : 既存中学校校舎 南側増築
- A-②案 : 既存中学校校舎 西側増築
- B-①案 : 既存中学校敷地 東側配置
- B-②案 : 既存中学校敷地 南側配置
- B-③案 : 既存中学校敷地 西側配置

A-①案

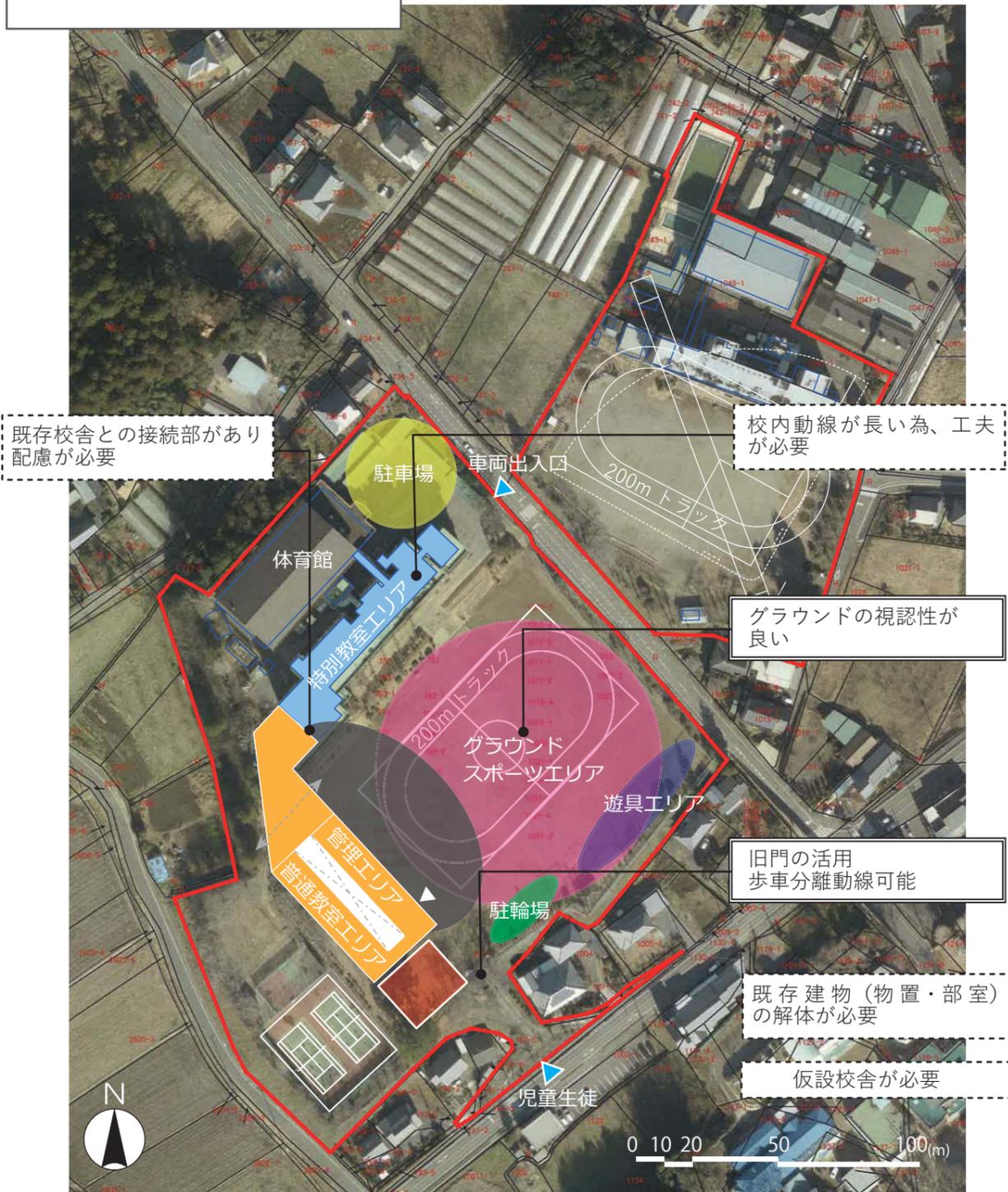
施設規模
既存中学校校舎 南側増築 3,800 m²
(3階建想定)



凡 例							
	: メリット		: 既存活用施設		: 駐車スペース		: グラウンドスポーツエリア
	: 要検討		: 計画建物		: 駐輪スペース		: 遊具エリア
			: 多目的ホール (屋内運動場兼用)				

A-②案

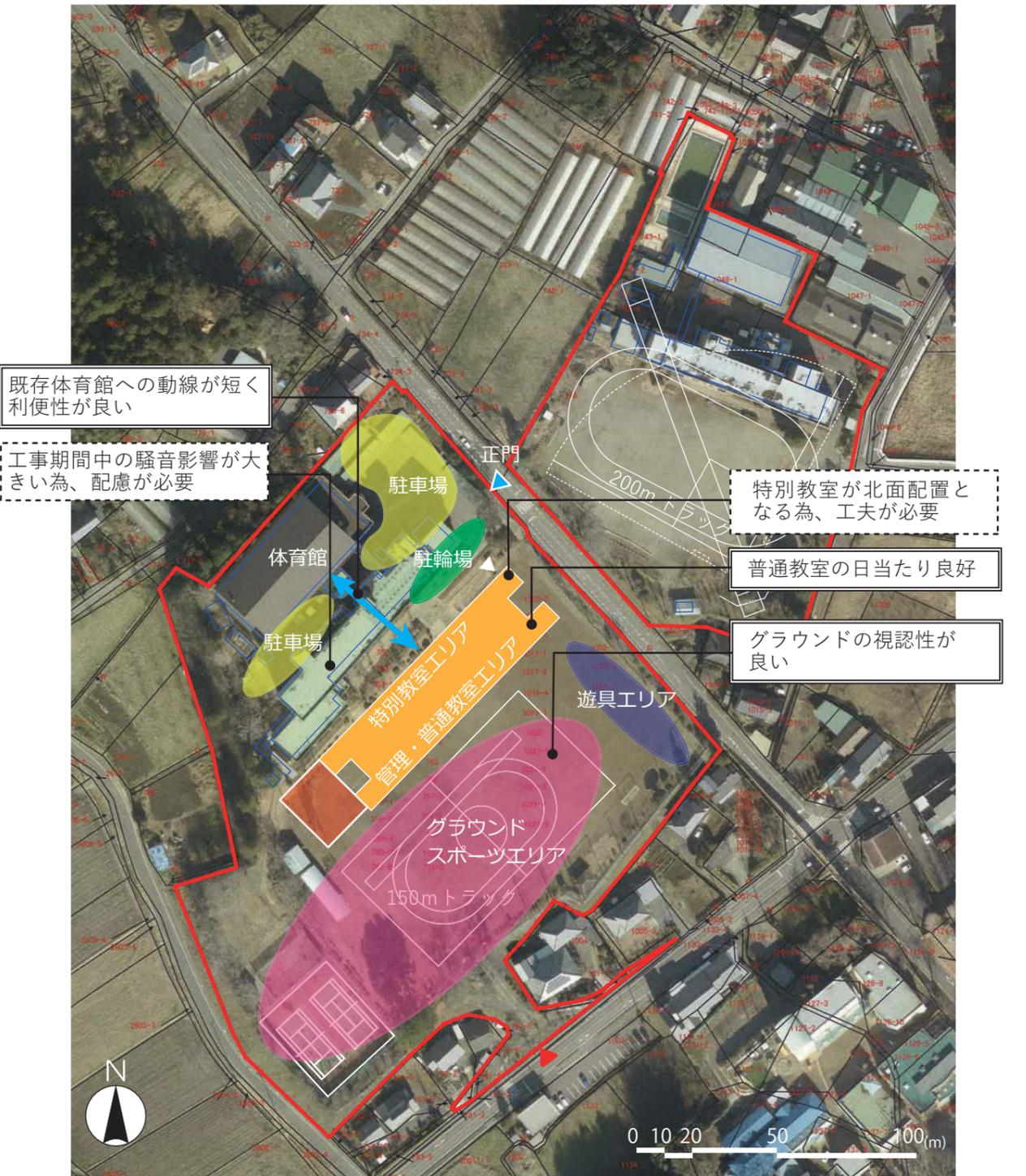
施設規模
既存中学校校舎 西側増築 3,800 m²
(2階建想定)



- 凡例
- メリット (Merit)
 - 要検討 (To be considered)
 - 既存活用施設 (Existing facilities to be used)
 - 計画建物 (Planned building)
 - 多目的ホール (屋内運動場兼用) (Multi-purpose hall, also indoor sports field)
 - 駐車スペース (Parking space)
 - 駐輪スペース (Bicycle parking space)
 - グラウンドスポーツエリア (Ground sports area)
 - 遊具エリア (Play area)

B-①案

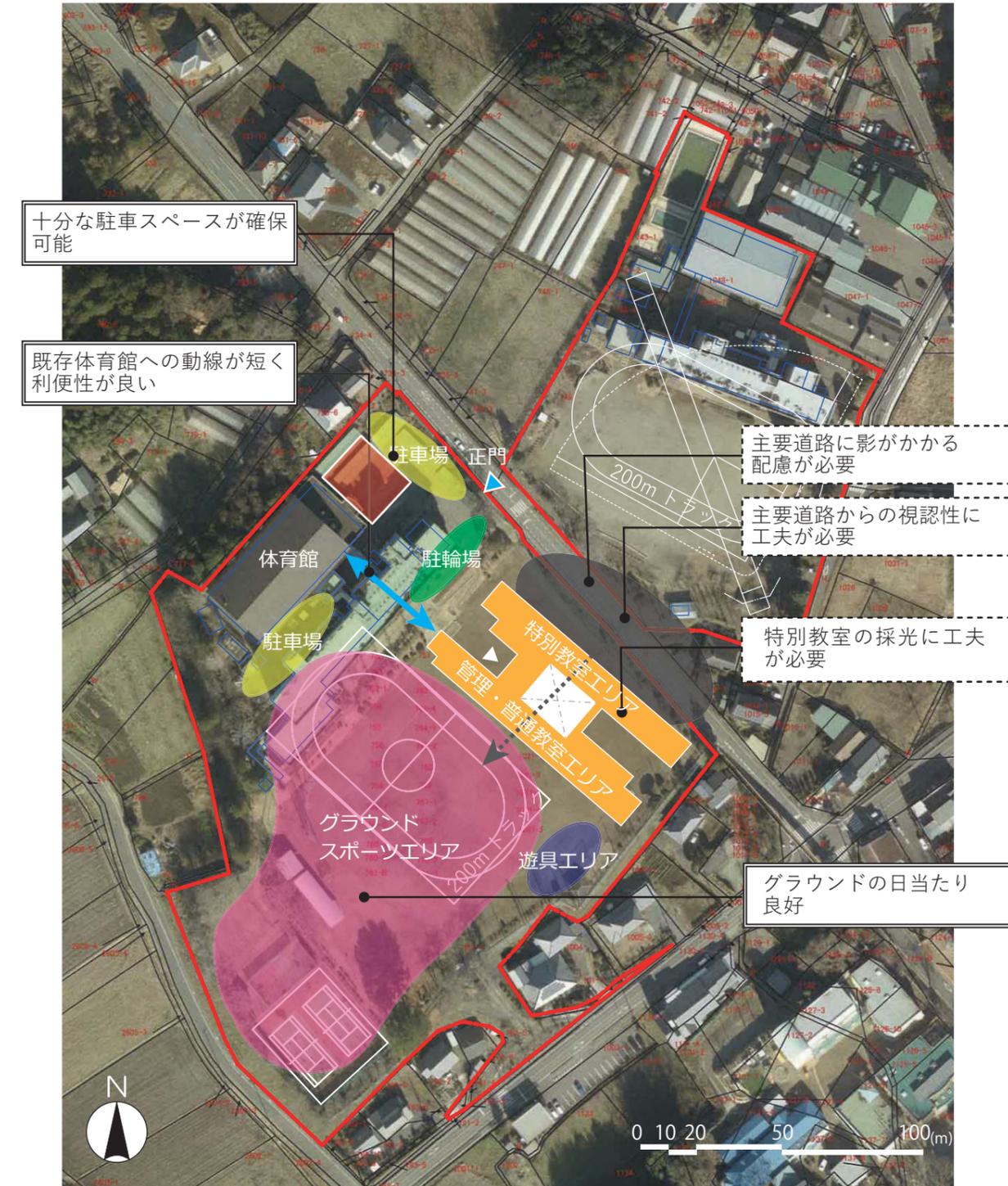
施設規模
7,000 m²程度想定 (3階建想定)



- 凡例
- メリット (Merit)
 - 要検討 (To be considered)
 - 既存活用施設 (Existing facilities to be used)
 - 計画建物 (Planned building)
 - 多目的ホール (屋内運動場兼用) (Multi-purpose hall, also indoor sports field)
 - 駐車スペース (Parking space)
 - 駐輪スペース (Bicycle parking space)
 - グラウンドスポーツエリア (Ground sports area)
 - 遊具エリア (Play area)

B-②案

施設規模
7,000 m²程度想定 (3階建想定)

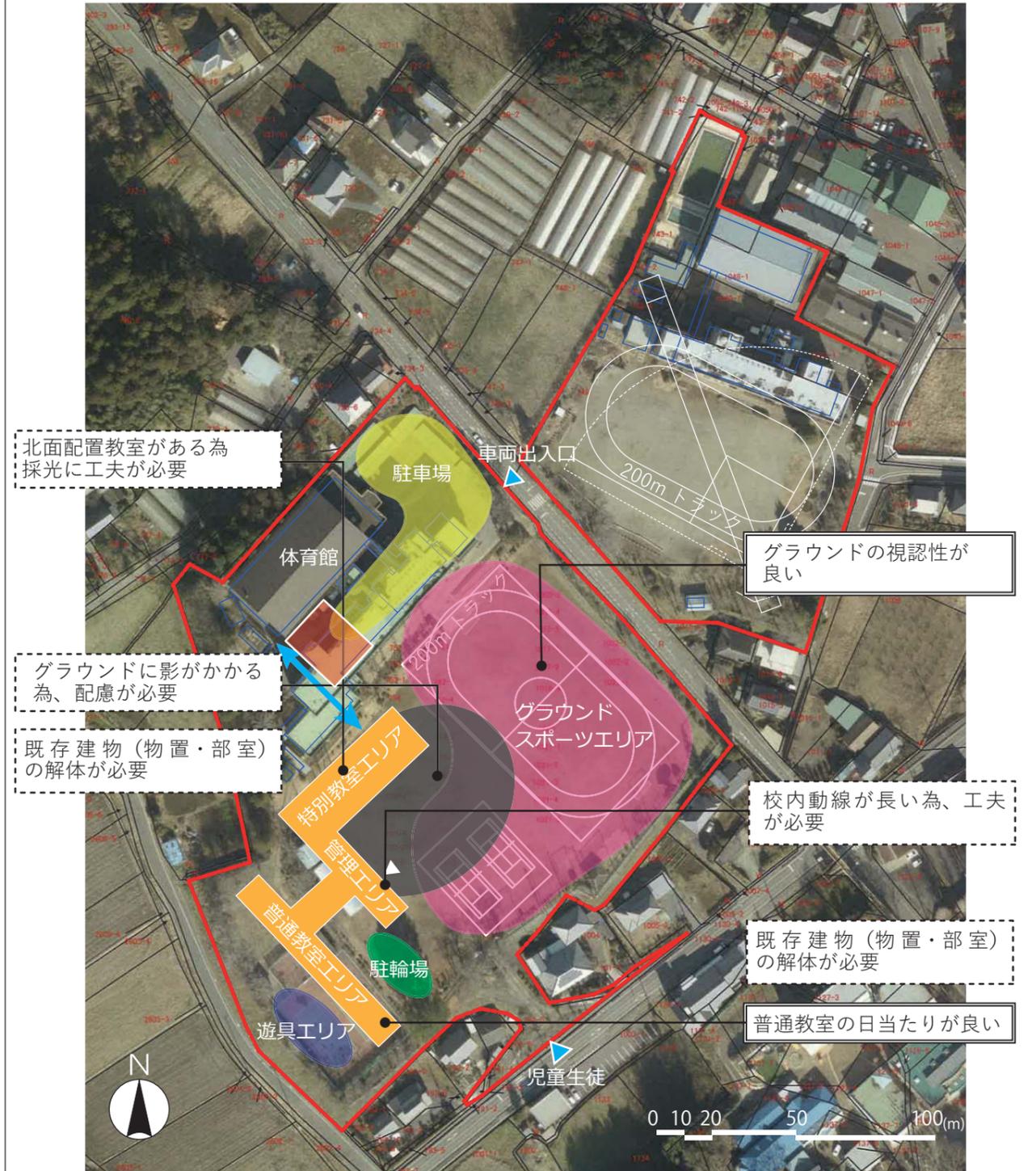


凡例

- メリット
- 要検討
- 既存活用施設
- 計画建物
- 多目的ホール (屋内運動場兼用)
- 駐車スペース
- 駐輪スペース
- グラウンドスポーツエリア
- 遊具エリア

B-③案

施設規模
7,000 m²程度想定 (3階建想定)



凡例

- メリット
- 要検討
- 既存活用施設
- 計画建物
- 多目的ホール (屋内運動場兼用)
- 駐車スペース
- 駐輪スペース
- グラウンドスポーツエリア
- 遊具エリア

配置比較表

配置案		動線の確保	グラウンド環境	施工性	周辺への影響	総評
A ・ ① 案	既存中学校 3,204㎡ + 増築 3,800 ㎡ (3階建) 校舎南側配置	既存体育館やグラ ウンドへの接続が良い。	200mトラックを同 一敷地内に確保で きる。 既存グラウンド用 地より、小規模なグ ラウンドになる。	仮設校舎を検討す る必要がある。 既存校舎との近接 部がある。 工事期間中、既存 校舎への騒音や日 照影響がでる。	既存校舎グラウン ド側の配置となる 為、周辺への影響 は少ない。	○
	評価	◎	○	△	○	
A ・ ② 案	既存中学校 3,204㎡ + 増築 3,800 ㎡ (3階建) 校舎西側配置	旧門の活用によ り、車両動線と通学 動線をわけること ができる。 校舎内動線が長く なる。	200mトラックを同 一敷地内に確保で きる。 グラウンドへの日 照影響がでる。	仮設校舎を検討す る必要がある。 既存校舎との近接 部がある。 工事期間中、既存 校舎への騒音影響 がでる。	主要道路との距離 が確保されるため、 工事期間中の交通 影響は少ない。 敷地南側住居との 離隔距離に、配慮 する必要がある。	○
	評価	○	○	△	○	
B ・ ① 案	延床面積 7,000㎡程度 (3階建) 敷地中央配置	既存体育館やグラ ウンドへの接続が良い。 円滑な通学・校内 動線を確保すること ができる。	150mトラックを同 一敷地内に確保で きる。 既存グラウンド用 地より、小規模なグ ラウンドになる。	仮設校舎を設置せ ずに、工事を行うこ とが可能である。 工事期間中、既存 校舎への騒音や日 照影響がでる。	周辺住居や主要 道路との離隔距離 を十分に確保するこ とができる。	◎
	評価	◎	△	○	◎	
B ・ ② 案	延床面積 7,000㎡程度 (3階建) 敷地東側配置	既存体育館やグラ ウンドへの接続が良い。 旧門からのアクセ スも良好である為、 多面的に計画・検討 を行うことが可能で ある。	200mトラックを同 一敷地内に確保で きる。 既存校舎の解体 後、グラウンド用地 の拡張を行うことで 十分な広さを確保で きる。 日当たりが良好で ある。	仮設校舎を設置せ ずに、比較的スト レスな施工が可能 である。	周辺住居への影 響は少ない。 東側道路に日照 影響がある。	◎
	評価	◎	◎	◎	△	
B ・ ③ 案	延床面積 7,000㎡程度 (3階建) 敷地西側配置	接道から安全な距 離を確保すること ができる。 校内動線が長くな る。	200mトラックを同 一敷地内に確保で きる。 グラウンドへの日 照影響がでる。	工事動線が長い。 既存施設の一部 分に騒音や日照影 響がでる可能性が ある。	主要道路との距離 が確保されるため、 工事期間中の交通 影響は少ない。 敷地南側住居との 離隔距離に、配慮 する必要がある。	○
	評価	○	○	△	○	